

令和8年度東広島市DX人材育成業務に係る質問書に対する回答

No	資料名称	該当頁	該当行	該当項目	質問内容	回答
1	基本仕様書	1~2	2、3(1)	これまでのDX/生成AI研修の実施実績について	これまでのDX/生成AI研修の実施実績について過去にどのような生成AI関連の研修・取組を実施されてきたか、また、職員の現在の習熟度はどのレベルにあると認識されているか、ご教示ください。	本市においては、これまでに生成AIに関する基本的な操作研修（1時間程度）を3回実施しております。 職員の習熟度については、令和7年度に実施した職員アンケートの結果、文書作成補助やアイデア出し等の場面で、生成AIを月1回以上活用している職員が約4割となっております。 こうした状況から、全体の半数程度の職員が、業務上における基本的な活用方法を習得している段階にあるものと認識しています。
2	基本仕様書	3~4	(4)ア、イ	庁内における生成AI先進活ユーザー・部署の有無	既に庁内で生成AIを業務活用している先進職員・部署はございますか。また、そうした方々を伴走型研修の「コア人材」として巻き込むことは可能でしょうか。	現時点において、特定の先進的活用を行っている職員や所属を体系的に把握している状況にはありません。 一方で、本研修については、生成AIの活用に関心のある職員が主体的に参加することを想定しており、その中からコア人材の形成につながることを期待しています。
3	基本仕様書	2、3~4	(2)イ、(4)ウ	Copilotの利用環境について	Microsoft 365 Copilot（有償版）と、Copilot Chat（無償版）のうち、どちらが全職員に提供されているかご教示ください。 また、Copilot Studio・Power Automate・Power Appsのライセンスは、伴走型研修の参加予定者全員に付与されているか、付与に制約があるかについてもご教示ください。	本市では、Microsoft 365 Copilot（有償版）は利用しておらず、Copilot Chat（無償版）はE3ライセンスにより全職員が利用可能です。 Copilot Studioはテナント単位の容量ライセンスを契約しており、エージェントの利用自体は可能ですが、作成者には別途権限付与が必要です。 また、Power Automate・Power AppsはE3に含まれる範囲は全職員利用可能ですが、プレミアム機能は利用できません。
4	基本仕様書	2、3~4	(2)イ、(4)ウ	情報セキュリティポリシー上、生成AIに入力できる情報の範囲	個人情報・要配慮情報・内部文書等の取り扱いルールは現時点で定まっておりますでしょうか。研修における演習設計に影響するため、ご教示ください。	本市においては、生成AIの業務利用に関するガイドライン（東広島市生成AI利用ガイドライン）を策定・運用しており、個人情報・要配慮情報・内部文書等の取扱ルールについても整理しております。
5	基本仕様書	3	(4)イ	「部署の困りごと」をテーマとする際の参加者の選定方法	受講者20~30名は、各部署から1名ずつ選出される想定か、希望部署から複数名の参加を認める想定か、ご教示ください。汎用性を保持するか、やや専門分野に寄せた研修にするかに関わりますのでお伺いしたいです。	受講者については、希望した所属から1名程度を基本として選出することを想定しています。 ただし、所属の状況や関心度に応じて、複数名が参加する場合もあり得ます。
6	基本仕様書	3~4	(4)ウ	試作する「AIエージェント等」の運用について	研修期間中に試作したツール（Power Apps、Copilot Studioのエージェント等）を、研修終了後も実業務で継続運用することを想定されているかどうか、ご教示ください。 想定される場合、運用・保守の責任主体や、情報システム部門のガバナンス上の取り扱いについて方針があるかも併せてご教示ください。	現時点では、研修期間中に試作したツールについては、内容や業務適合性を個別に評価した上で、実業務での継続運用を判断することを想定しております。 運用・保守については原則として当該業務を所管する担当部署を主体としつつ、必要に応じて情報システム部門が技術的支援を考えております。ガバナンス上の取り扱いについては情報セキュリティポリシー・生成AIのガイドライン等に基づき個人情報・機微情報の有無やアクセス権限の設定等を審査した上で本番業務への適用を考えております。
7	基本仕様書	2~4	(2)ウ、(3)イ、(4)エ	全研修をオンラインで提供することの可否	一般職員向け研修、管理職向け研修、伴走型研修について、そのすべてをオンラインで実施することは可能でしょうか。	各研修については、仕様書に記載のとおり対面およびオンラインの併用を基本としています。 また、録画視聴等による柔軟な受講形態も想定しており、すべてをオンラインで実施する提案についても、内容に応じて協議の上で検討可能です。
8	基本仕様書	2 3	14、33 29	(2)、(3)、(4)	庁内への周知や参加促進は貴市が行われるという理解でよいでしょうか。	庁内への周知および参加者の募集については、発注者において実施する予定です。
9	基本仕様書	2 3	14、33 29	(2)、(3)、(4)	実施会場は貴市庁内を想定されていますか。	研修の実施会場については、原則として庁舎内の会議室を想定しています。

10	基本仕様書	4	18	(4) カ	実施回数は6~14回の記載があり、かなり幅を持たせた書き方にされている意図をお教えください	一定の研修成果を得るためには、継続的な実施が必要であると認識しています。幅を持たせている理由として、研修の内容等により、実施すべき研修回数に幅があると考えております。研修の内容等により必要な回数は異なるため、最適な実施回数を提案してください。
11	基本仕様書	5	10	4 追加提案	「契約への反映や別途実施の可否を判断する」との記載がありますが、検討次第では別事業となることも想定されますか。	追加提案の内容については、提案内容および追加提案の事業費等を踏まえて検討することとしており、その結果として、契約内容への反映または別事業として実施する可能性があります。
12	基本仕様書	4	5	(4) ウ	研修成果の発表について、場の設定や運営に関する記載がないのですが、本委託事業の範囲外という理解であっていただけますでしょうか。	成果発表の場の設定および運営は発注者が行います。受注者には、発表に向けた資料作成等の伴走支援を求めます。
13	基本仕様書	4	20	(4) キ	受講後アンケートは、各回終了後なのか、伴走支援完了後なのか、実施時期の想定を教えてください。	受講後アンケートについては、伴走支援の完了後に実施することを想定しています。
14	基本仕様書	6	1~2	7.主務担当者の選定	3.本業務の内容をもとに、主務担当者が2名存在するのが最適と考える。2名が連携し、提案する形として、2名存在することは可能か。	主務担当者については、体制・役割分担を明確にすることで複数名とすることも可能です。
15	基本仕様書	3	3(3)イ	一般職員向け研修	Copilotを基本とするとの記載があるが、受講者の利用環境（ライセンス付与状況・利用可能機能範囲）について制約があればご教示ください。	本市においては、Copilot（無償版）を基本とした利用環境を前提としております。Microsoft 365 Copilot（有償版）については利用していないため、利用可能な機能は主にCopilot Chat（無償版）の範囲に限定されます。
16	基本仕様書	2	3(2)ウ 3(3)イ	一般職員向け研修	対面研修を実施する場合の会場は、発注者が用意するものか、受注者が手配するものかをご教示ください。受注者手配の場合、想定される収容規模(特に全職員対象研修)についてもご教示ください。	研修会場は発注者において用意します。原則として庁舎内の会議室を想定しており、収容規模は40名程度を想定しています。
17	基本仕様書	4	3(4)ウ 3(6)エ		伴走型研修におけるAIエージェント等の試作・検証にあたり、受講者及びファシリテーターに付与されるライセンスおよびプレミアムコネクタ等の追加ライセンスが必要となる場合の取扱いについてご教示ください。	本研修で使用するツールのライセンスについては、本市が保有する環境の範囲内での利用を前提としています。追加のライセンスが必要となる場合は、内容に応じて発注者と協議の上で取扱いを決定します。
18	基本仕様書	2	23	(2) 一般職員向け生成AI活用研修ウ	一般職員向け研修にてオンラインでの実施はどのオンライン会議サービスを利用可能でしょうか？	オンラインでの研修実施にあたっては、Microsoft Teamsの利用を想定しています。
19	基本仕様書	2	—	(2) 一般職員向け生成AI活用研修	一般職員向け及び管理職向け研修は、それぞれの程度の人数の参加を見込みますでしょうか？また、対面研修のための会場は庁舎内の会議室などを利用可能でしょうか？	一般職員向けおよび管理職向け研修については、対面では最大40名程度の参加を想定しています。それ以外の職員については、オンラインまたはアーカイブ視聴による受講を想定しています。また、研修会場については、発注者が用意する庁舎内会議室の使用を想定しています。
20	基本仕様書	—	—		各研修においては、参加者のPCを使ってAIを実際に使っていただくことを想定しておりますが、例として挙げられている生成AIやツールはそのPCで利用可能という前提でもよろしいでしょうか？また、追加で提案するツールはPCにインストールするタイプがある場合は、そういったツールも許可は可能でしょうか？	研修においては、受講者自身のPCを使用して生成AI等のツールを活用することを想定しています。提示しているツールは、当該環境で利用可能であることを前提としています。なお、追加でツールのインストールが必要となる場合は、セキュリティおよびライセンス条件等を踏まえ、発注者と協議の上で決定します。
21	基本仕様書	1	4	2 本市の抱える課題と本業務の目的	令和7年度や令和6年度にて、DX人材育成に関わる取組みを実施されておりましたら、参考までにどのようなことを、内製、又は外部委託にて実施されており、どのような結果が出ているのか教えていただけますでしょうか？	令和7年度において、外部委託により、部局長向けおよび希望職員向けに、生成AIの概要やリスク、自治体における活用事例等に関する研修を実施しました。これらの取組により、通常業務での活用につながっています。

22	基本仕様書	1	—	2「本市の抱える課題と本業務の目的」	本業務の前提として、過去にDX人材育成・職員研修（生成AI活用、データ活用、業務改善等）を実施されている場合、その実施結果に対する振り返り（成果・課題・継続的活用に至らなかった要因等）について、本業務に活かせる範囲でご教示ください。	令和7年度に実施した職員アンケートの結果、文書作成補助やアイデア出し等の場面で、生成AIを月1回以上活用している職員は約4割となっています。このことから、職員の半数程度は業務上の基本的な活用方法を習得しているものと認識しています。一方で、業務プロセスの再設計といったDXの実装・定着については、十分に進んでいるとは言えない状況です。
23	基本仕様書	2,4	—	3(2)イ、3(4)ウ	「市が用意する環境で利用する前提」と記載されておりますが、受講者の研修用のパソコン環境（1人1台、ノートPC持参可否）や、受注者側含むアクセス可能なアカウント・権限付与方針（提供時期、利用可能なライセンス種別、Copilot Studio等の利用可否）についてご教示ください。	研修受講者には原則として1人1台のノートPCを配備しており、持参による利用も可能です。受注者は市のMicrosoft 365アカウントを前提とし、Copilotは無償版が利用可能です。Copilot Studio等の利用については、必要に応じて権限付与を行いますが、機能やライセンスには一部制約（Copilot Studioの利用量制限や、Power Platformは標準機能の範囲に限定）があります。なお、受注者側のアカウントについては、受注者にご準備いただきます。
24	基本仕様書	4	—	3(4)ウ	伴走型DX人材育成研修で使用使用するPower Platform環境（Power Apps、Power Automate、Copilot Studio）の利用ライセンスは、全受講者に付与されますか？また、試作・検証段階で必要となるプレミアムコネクタやAI Builder等の追加ライセンスが必要となった場合の取り扱いについてご教示ください。	Power Platformの利用については、Microsoft 365 E3により標準機能は全受講者が利用可能です。Copilot Studioについてはテナント単位の容量ライセンスを契約しているため利用可能ですが、作成権限については必要に応じて個別に付与します。一方で、プレミアムコネクタやAI Builder等のプレミアム機能については追加ライセンスが必要となるため、想定していません。
25	基本仕様書	2,3	—	3(2)、3(3)	一般職員向け生成AI活用研修および管理職向け生成AI動向研修それぞれについて、想定する対象者数（全職員数、課長級以上の管理職数）をご教示ください。	全職員は約1,600名、管理職員は約150名です。
26	基本仕様書	3	—	3(4)イ	伴走型DX人材育成研修の受講者「市内の希望者20～30名程度」について、募集および選定の主体は発注者・受注者のいずれを想定されておりますか？また、受講者の研修参加に伴う業務時間の取り扱い(業務として位置づけられるか、所属長承認の有無等)について、市側で想定されているものがあればご教示ください。	受講者の募集および選定は、発注者において実施することを想定しています。また、受講者については、所属長の承認を受けた上で、業務として参加することを想定しています。
27	基本仕様書	1	—	2「本市の抱える課題と本業務の目的」	貴市における生成AI（Copilot等）の全庁利用の開始時期、および現時点での活用度合い（利用率、部署別の偏り等）について、共有可能な情報がございましたらご教示ください。	本市における生成AIの全庁的な利用は、令和5年12月のガイドライン制定および令和7年7月の改定を通じて、段階的に環境整備と周知を進めている状況です。現時点では、全職員が無償版Copilotを利用可能な環境にありますが、活用度は部署により差があり、一部で先行的に活用が進んでいます。また、過去90日間（令和8年2月22日から5月22日）の1日平均アクティブユーザー数は195人となっています。
28	基本仕様書	2,3	—	3(2)ウ、3(3)イ	オンライン研修の環境について、「対面とオンラインによる実施を基本とする」と記載されておりますが、オンライン研修で利用する配信プラットフォーム（Microsoft Teams等）、および研修録画動画の保管・アーカイブ配信に使用する基盤について、市側で指定または用意されているものがあればご教示ください。また、オンライン参加時の受講者の参加形態（自席PCからの個別参加、会議室への集合参加等）について、想定がございましたらご教示ください。	オンラインでの研修実施にあたっては、Microsoft Teamsの利用を想定しています。研修録画動画については、納品されたデータを市の共有サーバに格納し、職員が視聴する運用を想定しています。また、オンライン参加については、原則として各自席からの個別参加を想定しています。
29	基本仕様書	2,3,4	—	3(2)、3(3)、3(4)	各研修における対面実施時の会場について、市側で用意されるか、受注者で手配するかをご教示ください。市側で用意される場合、収容可能人数、設備（プロジェクター、Wi-Fi環境、電源、ホワイトボード等）の概要についてもご教示ください。	会場は、発注者が用意する庁舎内会議室を使用する想定です。会議室は最大40名程度の規模で、プロジェクター等の基本設備は発注者が用意します。

30	基本仕様書	2	—	3(2)オ	「実施回数は最低1回とすること」と記載されておりますが、一般職員向け研修において、全職員が1回の研修で受講できる前提か、複数回の開催により全職員をカバーする想定か、市側のお考えをご教示ください。	一般職員向け研修については、録画視聴等により全職員が受講できることを想定しています。
31	基本仕様書	4	—	3(4)ウ	伴走型DX人材育成研修の成果発表について、発表会の会場手配、参加者（市幹部・所属長等）の招集、当日運営等の役割分担について、市側および受注者の想定をご教示ください。	会場準備、参加者の招集および当日運営は発注者が行います。受注者には、発表資料作成等の伴走支援を求めます。
32	基本仕様書	5	—	3(6)オ	「成果の確認および評価にあたっては、発注者と受注者が事前に合意した観点に基づき実施する」と記載されておりますが、市側で想定されている評価観点(受講者のスキル習得度、業務改善の実装度合い、組織展開可能性等)について、現時点でお考えがあればご教示ください。	提案の内容によって、受注者と発注者の協議によって設定します。
33	基本仕様書	2	22	生成AIの環境	貴市で利用している生成AIに利用制限はあるか。（WEB接続不可。ファイル添付不可など）	個人情報や未公開情報等の機密情報は入力禁止としておりますが、WEB接続・ファイル添付については制限してません。
34	基本仕様書	2	23	研修の実施形態	「対面とオンラインによる実施を基本」とあるが、ハイブリッドでの開催を期待されているのか	対面のみでの全職員受講は困難であるため、オンライン配信や録画視聴を併用した受講形態を想定しています。
35	基本仕様書	4	16	ワーク形式	「ワークの伴走支援」とは具体的にどのようなことを指しているのか。	個人情報や未公開情報等の機密情報の入力は禁止しています。なお、WEB接続およびファイル添付は可能ですが、ガイドラインに基づき適切に利用する必要があります。
36	基本仕様書	5	10	追加提案の対象	追加提案は「各部署が抱える具体的な業務課題」を題材とするが、対象となる人材は伴走型DX人材育成研修に参加した職員か。それとも、それに限らない全ての部署の職員が対象となるのか。	伴走型DX人材育成研修の受講者およびその所属部署を基本と想定します。ただし、未受講者の関与を妨げるものではありません。
37	基本仕様書	4	11	(4) 伴走型DX人材育成研修該当ウ	業務課題解決の検証について、「Copilot」・「Copilot Studio」・「SharePoint」・「Power Automate」・「Power Apps」を使用せずGWS・GASを使った提案をしてもよろしいでしょうか？	使用する生成AIおよびツールは、「Copilot」「Copilot Studio」「SharePoint」「Power Automate」「Power Apps」を基本とします。上記を前提とした範囲での提案を求めます。なお、これらを前提としない構成や、追加の有償ライセンスを必要とする提案は想定していません。
38	基本仕様書	4	11	(4) 伴走型DX人材育成研修該当ウ	GWS・GASを使う際に、インターネットに接続可能なPCを参加者様分ご用意いただけますでしょうか？	本業務はMicrosoft環境を前提としているため、GWS・GASを用いた研修は想定していません。なお、職員には1人1台のPCを配備しており、リモートデスクトップを通じてインターネット接続が可能です。
39	基本仕様書	2	3-(2)ウ	一般職員向け研修の対象人数	「全職員を対象」とありますが、対象となる職員の総人数および1回あたりの参加人数の想定を教えてください。人数規模によっては、当日参加できなかった職員へのフォローや理解度の定着を図るため、複数回の開催が必要になる場合も想定されます。実施回数の上限や追加開催に関する考え方があれば合わせてご確認させていただきます。	全職員は約1,600名です。対面は1回あたり40名程度を想定し、それ以外はオンラインまたは録画視聴による受講を想定しています。なお、複数回実施を妨げるものではありません。
40	基本仕様書	2	3-(2)イ	使用するCopilotのプラン	研修で使用する「Copilot」のプランについて教えてください（例：Microsoft 365 Copilot、Bing版Copilot等）。また、ライセンスが付与されている職員の範囲も合わせてご確認させていただきます。プランによってWord・Excel・Outlook等との連携機能の有無が異なり、ハンズオンで実際に職員の方に触れていただける内容が大きく変わるため、カリキュラム設計の前にご確認させていただきたい事項です。	研修で使用するCopilotについては、Microsoft 365に付随して利用可能な無償版Copilotを前提としております。Microsoft 365 Copilot（有償版）については、利用しておりません。なお、無償版Copilotについては、Microsoft 365 E3ライセンスにより全職員が利用可能な状態となっています。

41	基本仕様書	2・3	3- (2) イ	職員のCopilot利用経験	現時点での職員のCopilot利用経験の程度を教えてください(例: 全くの未経験、一部の職員がすでに活用中、等)。研修カリキュラムの難易度設計の参考にさせていただきます。	令和7年度に実施した職員アンケートの結果、文書作成補助やアイデア出し等の場面で、生成AIを月1回以上活用している職員が約4割となっています。こうした状況から、全体の半数程度の職員が、業務上における基本的な活用方法を習得している段階にあるものと認識しています。
42	基本仕様書	4	16	ワークの伴走支援について	ワークの伴走支援において、受講者間での情報共有や成果物作成のためにファイル共有(例: SharePoint、Teams等)やワークスペースが必要になると想定しております。	ご認識のとおり、ファイル共有等の環境が必要となることを想定しており、Microsoft Teams等を用いた共有を想定しています。
43	基本仕様書	4	17~19	研修時間、回数について	仕様書において、研修は「1回あたり2時間程度」「実施回数は6~14回程度」「7月から10月にわたり約4か月間の継続した研修」とする旨が記載されております。一方で、1日あたりの実施回数に関する明確な記載がないことから、下記についてご教示ください。1日に複数回の研修(例: 午前・午後各1回、計2回)を実施することは可能でしょうか。	一般職員向けおよび管理職向け研修については、1日に複数回実施することを妨げるものではありません。伴走型研修については、通常業務への影響を踏まえ、1日あたり2時間程度の実施を想定しています。
44	基本仕様書	2及び3	エの2行目 ウの2行目	研修データの提供について	一般職員向け研修及び管理者向け研修について、研修データ(教材等)を東広島市様に提供するとの事ですが、東広島市様側で翌年度以降なども加工利用できるよう著作権を譲渡する(著作権は東広島市に帰属する)形態で納品する認識でよろしいでしょうか。	研修データについては、本市において活用可能な形で提供を受けることを想定しています。
45	実施要領	4	9	提案書のページ数	表紙や目次を含めて20頁以内か。	表紙および目次は、20頁に含まれません。
46	実施要領	5	17	配点項目	内容、運営体制、金額などの配点に関する配分があればご教示ください。	評価の視点については、提案書記載事項を参考としてください。
47	実施要領	2	2(3)	提案上限額	提案上限額内で追加提案を含める必要があるか、また別途契約となる可能性があるのかをご教示ください。	追加提案については、提案上限額に含める必要はありません。取扱いは、提案内容および本市の予算状況等を踏まえ、契約反映または別事業として実施する場合があります。
48	実施要領	3~5	7(1)③/ 7(7)	提出書類	「7(1)提出書類」には消費税及び地方消費税の納税証明書が挙げられていますが、令和8年6月3日締切の提出書類リスト(7(7))には当該証明書の記載がありません。提出可否をご教示ください。	「7(7)」に記載の提出書類一覧から消費税及び地方消費税の納税証明書の記載が漏れておりました。当該書類については、提出をお願いします。
49	実施要領	4	25	(5)提案書を作成するうえでの留意事項 キ	「提案書には、社名等、事業者を直接特定できる情報を記載しないこと。」とありますが、体制や実績にも類推できる情報が項目上必要と思われるのですが、その際はどのようにしたらよろしいでしょうか?	提案書においては、社名等の事業者が特定される情報の記載は避けてください。一方で、体制や実績に関する記載について、特定に至らない範囲での記載は差し支えありません。
50	実施要領	4	10	(4) 提案書の作成様式	日本産業規格A4判で20頁以内(両面印刷不可)とする。との記載がありますが、こちらの20頁以内とは、表紙や目次の頁については含まれない認識で良いでしょうか?	表紙および目次は、20頁のカウントには含まれません。
51	実施要領、基本仕様書	実施要領8、仕様書3	—	実施要領11(1)、仕様書3(3)カ	契約締結(令和8年6月中旬)から管理職向け生成AI動向研修の実施時期(6月から7月)までのリードタイムが短いものと存じますが、業務計画書の策定・市側との協議・受講対象者の日程調整等のリードタイムを踏まえ、各研修の実施時期について、仕様書記載の時期幅の中でどの程度の柔軟性があるかご教示ください。	実施時期については、協議の上で一定の柔軟な調整が可能です。ただし、伴走型DX人材育成研修の実施前に、管理職向け研修を完了する必要があります。
52	基本仕様書、実施要領	仕様書5、実施要領3	—	仕様書4「追加提案」、実施要領11(1)「契約手続」	「追加提案」について「本市の予算状況や提案内容の妥当性等を踏まえ、発注者と受注者の協議により、契約への反映や別途実施の可否を判断する」と記載されておりますが、契約反映または別途実施の判断時期(契約締結時/業務実施中/業務完了後等)、および別途実施となる場合の契約・予算化の手続きについて、想定されているタイミング・進め方があればご教示ください。	現時点で具体的な実施時期や方法は定めていません。内容に応じて、契約への反映または別途実施を検討します。

53	追加提案	5	12~14	追加提案の契約について	「当該追加提案の内容については、本市の予算状況や提案内容の妥当性等を踏まえ、発注者と受注者の協議により、契約への反映や別途実施の可否を判断するものとし、必須業務の範囲に含まれるものではない。」とありますが、追加提案は本プロポーザルの業務とは別の予算で実施されるものであり、提案をご採択頂いた際に東広島市様と内容を協議の上、必要に応じ変更契約や別途契約を行う業務という解釈でよろしいでしょうか。	追加提案は本業務とは別枠で検討し、内容に応じて契約変更または別途契約とする場合があります。
54	様式第1号				本提案も共同提案で行う場合、様式第1号は共同提案者も必要か否か。また他必要書類があればご提示願いたい。	本プロポーザルは、単独事業者による提案を前提としています。 なお、業務実施体制として他事業者を含めること自体は差し支えありませんが、契約は1事業者と締結します。
55	様式第2号				本提案を共同提案にて実施をする場合、DX人材育成業務実績書は、両社の実績の合算にて提案が可能か否か。また、DX人材育成業務実績書は2社から提出する形となるか、合算かどちらか。	本プロポーザルは単独事業者による提案を前提としているため、実績については契約主体となる事業者の実績を基本とします。 なお、業務実施体制に含まれる他事業者の実績については、体制の補足として提案書内で記載することは差し支えありません